第312回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成26年10月27日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員9人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
村松 敦	委員	新谷 達夫	委員
碓井 真史	委員	原田 健一	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
取締役編成局長 兼 番組審議会事務局長	須佐 博樹
取締役(報道・制作・国際担当)	平野 真一
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	大橋 義宏

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「離島甲子園 僕たちの夏」

[放送：9月27日（土）16:00-16:55]

(説明：番組プロデューサー 大橋 義宏)

2) 会社報告

①放送番組の種別報告及び放送番組の種別ごとの放送時間報告

(2014年4月～2014年9月) (報告：編成部長)

②10月期の基本番組種別放送時間 (報告：編成部長)

③9月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

④講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、8月18日から5日間、佐渡市で開催された、第7回全国離島交流中学生野球大会（通称：離島甲子園）を番組化したもので、離島という環境でも野球ができる、夢が持てるという気持ちでプレーしている選手と指導者たちの想いを伝えるとともに、大会を通しての交流、そこから生まれる絆を描いたという説明があった。

- 出場校の島の特徴、子供達の様子、試合の流れがまんべんなく取り上げられていてわかりやすかった。また、関係者の熱い想いが伝わった。

- 離島はそのマイナス点が取り上げられがちだが、島の特徴を生かして、スポーツや文化の交流を若い世代で行い、地方と地方のつながりを作っていくことが今後のポイントだと思っており、離島甲子園は、その取り組みのすべての要素が入ったイベントだと感じた。
- それぞれの地域で人を育てる、子供達を支えるという場面を見て、大げさかもしれないが、日本というのは、もともと島国で、それを生かした、いい国だなあと感じた。
- 子供達の様子に大人は救われるような想いで見た。子供達の育ってゆくのに大事な周りの大人のあり方を考えさせられた。サポートしている大人の「島だから、地域の大人全員が応援している。子供達もそれがわかっている。それがいいところなんだ。」という言葉に尽きる感じがした。
- 見ていてわかりやすい形の番組ではあった。大会前の取材とは逆の発想で、大会後に面白い選手がいたら、それを追いかけるやり方もあったのではないか。「重要なのは終わった後だ」というインタビューもあったように、経験した後に何を感じていたか、勝負だけではなく、何を経験したかという方がドキュメンタリーとしても面白いと思う。
- 遠征費や大会のシステムなど疑問に思うところはあったが、子供達が周りの人達への感謝を語ってくれているおかげで、細かいことは気にならなかったし、子供達のすがすがしさが伝わってきて良かった。
- 佐渡のチームに偏らず、様々なチームの様子を全体的に配慮して取り上げ、バランス良いものになっていた。石垣島と礼文島の事前取材で内容も深くなり、飽きることなく見ること

ができた。

- 参加チームの島の場所を地図で全体像を示したり、過去の大会の開催地や優勝チームなどの基本情報もほしかった。また、地元の佐渡の人達がどう感じたかも盛り込めるとなお良かった。
- 試合に負けて泣いている姿を見ると、本物の高校球児と代わらない、野球にすべてをかけている姿や想いが伝わってきた。また、その一方で、野球を離れた中学生らしい姿とのコントラストも興味深かった。
- いちばん感じたことは子供達の成長ぶりだった。ひとつの小さな範囲にいと、交流もなく内弁慶になりがちだが、全国の離島から集まってみると、子供達の交流は意外と速い。そして、相手の良いところを吸収して、向上する気持ちが湧いてくるのが十分に伝わった。
- 全国の離島から23チームものチームが集まって試合をして交流するというのは、それぞれの離島単位では考えられないことで、民間人の力で離島の子供達に夢を与えるというプロジェクトを村田兆治という人がやっている、7回も。それを紹介していただいたことが大変うれしかった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

9月…… 235件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成26年9月29日)から昨日(平成26年10月26日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回、第311回審議会では、「24時間テレビにいがたスペシャル」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。
- 3) 放送基準改正に関する答申を受け、11月1日付で、改正及び施行することとしました。

8 今回の第312回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・2014年4月～9月 番組種別放送時間
- ・2014年度10月期 基本番組種別放送時間
- ・9月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(10/3、13、23号)
- ・BPO報告 N0.141

以上